

委員提案（第6回鹿野地域振興会議）

平成29年11月24日

伊井 照幸

①消防水利の確保（ひまわり団地内）

秋の火災予防週間も終わり、これから火災の起こりやすい時期となります。

火災には水利が一番大事となります。城下町地域の水利は、鹿野城跡の堀が水利源となり、地域内へ流れるためあまり心配はないと思いますが、4年前に起こった、ひまわり団地の全焼火災（1軒）の際は水利がなく、300メートル程離れた紺屋町の防火水槽と閉野の用水路から数10本のホースをつないで、消火活動にあたりました。団地近くに井出川はありますが、火災発生当時、農閑期で水が出ていませんでした。

ひまわり団地内への防火水槽設置等の消防水利確保について検討が必要だと思います。

②歩行者用信号機の設置（旧鹿野大橋 西詰）

市から交通安全指導員としての委嘱を受け、月2回ほど朝の立哨と見守りを旧鹿野大橋西詰で行っています。

その時間には、湯花・湯川団地方面から50人くらいの小学生と10数人の中学生が登校してきます。この時間帯は通勤時間とも重なり、かなりの台数の車が通過します。

スピードをかなり出している車もあり、事故を未然に防ぐためにも歩行者用信号機の設置を要望していただきたいと思います。